

「日本の偉人」と

いわれる

人物の子孫に

その人となりなどを

紹介していただく

新連載。

# 大久保利通

明治維新の  
立役者といえる  
大久保利通の曾孫・  
利泰氏に、  
その第一回目を  
飾っていただいた。



大久保利通——おおくぼ・としみち

1830(天保元)年鹿児島生まれ。政治家。明治維新の指導者。版籍奉還や廃藩置県を推進し、新政府の基礎を固めた他、地租改正、殖産興業、実業教育の推進などの施策を実行。駒場農学校(現・東京農工大学)へ奨学金として私財を投じるなど力を入れた。1878(明治11)年紀尾井町で暗殺された。享年47歳。没後には借財が残されていたという。



大久保利泰——おおくぼ・としひろ

昭和9年東京都生まれ。大久保利通の直系四代目。35年慶應義塾大学卒業。横浜ゴム勤務。現在、(社)霞会館常務理事。

史実では語られていない利通の姿

今年は大久保利通の没後百三十年にあたりですが、その曾孫である私も折々講演などの依頼をいただいております。

大久保利通とはどのような人物だったかという一般的な質問に「西郷隆盛と対比すれば、利通のことはよく分かる」との捉え方をする人が多いようですが、それは一面的な見方ではないでしょうか。もっと他の見過ごすことができない、様々な側面があることをお伝えしていくのが子孫としての大事な役目ではな

## 大久保利泰

霞会館常務理事

いかと考えています。

もっとも、私自身も若い頃は利通の子孫であることを特別意識したことはなく、何か偉いことをした人だな、という程度の認識でした。しかし年を重ねるごとに曾祖父のことについて尋ねられる機会が増え、いろいろと調べていくうちに、なるほど、これはとてつもない人だと思ふようになりました。

大久保利通は幕末から明治に移る時代の転換期に従来の社会や政治体制を改め、日本の